

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	越前市家庭教育支援チーム (呼称:オレンジサポーターズ)
②活動拠点	越前市 武生南公民館
③活動範囲	越前市内全域
④組織体制	<p>7 人</p> <p>子育てサポーター 2人(うち元保育士 1人)</p> <p>主任児童委員 3人(うち元教員 1人、子ども食堂運営 1人)</p> <p>県子育てマイスター 1人(元幼稚園教諭)</p> <p>会社員 1人</p>
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	<p>(部署・氏名等)</p> <p>真柄 清美</p> <p>(TEL)080-3742-6064 (E-mail)</p>

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(「赤ちゃん抱っこ隊」として市内中学校の命のぬくもり体験学習事業を補佐)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

③活動内容

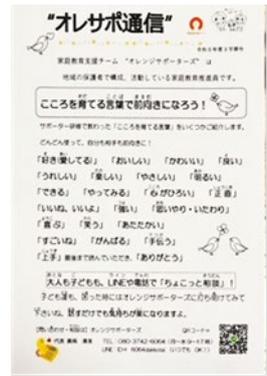
【具体的な活動内容】

1. 相談対応

「ちょっと聞いて～」と気軽に相談できる相手として活動。

深刻な内容は専門機関と連携して対応する。

平成31年4月より、LINEでも相談受付・対応。



2. 活動情報発信

「オレサポ通信」を発行し、活動情報や学習会の案内、関係機関からの情報などを知らせる。



3. 子育てサロン「オレンジサロン」の定期開催

0歳～未就園児を持つ親・祖父母の交流の場として開催。

小さな子を安心して遊ばせることのできる場所を提供し、子育て情報の提供や育児相談対応をする。

年1回程度、子育てに関する講座も開催する。

(令和4年度実施したアンガーマネジメント講演会→)



(←令和5年度は癒し時間の提供として
クリスタルボウル演奏会を実施)

4. 区内小中学校との連絡会を定期的開催

5. 関係機関(地区や市の青少年健全育成活動も含む)の子育て支援活動に手伝い参加

6. 市内中学校事業「いのちのぬくもり体験学習 赤ちゃん抱っこ体験」のサポート

「赤ちゃん抱っこ隊」として、抱っこ体験に協力してもらえる親子の募集、当日体験する生徒と親子の橋渡し役、赤ちゃんの親が育児に自信を持つ機会の提供など、赤ちゃんを中心に誰もが笑顔になる場のサポートを行っている。



④活動の成果

(活動実績がある場合)

・LINEでの相談受付対応を始めてから、顔見知りではない人からの相談や深刻な相談が増えた。登園・登校渋りなどコロナ前には無かった相談を受けられることが多くなった。

・気になる親子や家庭について、健康増進課、子ども家庭課、さらに園も加わり、より一層連携が深まった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ型家庭教育支援(相談者宅で、家事分担・お手伝いの指導、情報提供、相談対応)する機会が増えた。 ・令和4年に実施した講演会『今日から出来る！上手に子どもに伝える方法～家庭で役に立つアンガーマネジメント～』終了後のアンケートより、「日々イライラして上の子にも怒ってしまうことが多く自己嫌悪していたが、講座をきいて“怒り”に対する向き合い方が分かったように思う。またこのような講座があれば参加したい。」などの感想があった。 ・令和5年に実施再開した「赤ちゃん抱っこ体験」協力保護者のアンケートより、「中学生と関わる機会がないので、私自身も新鮮な気持ちになりました。子どもがぐずってなかなか抱っこさせてあげられなかったのですが、いい距離感を探そうとしてくれて、遊ぶだけが子どもとの関わりではないんだなと私自身も振り返れました。」「周りの大人の方が何かと気にかけて下さり、安心して子どもを任せられ、また子育てについて話せて私の気分転換になりました。」などの感想があった。 ・活動初期のサロンに参加していた母が活動メンバーに加入した。
<p style="text-align: center;">⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (地区自治振興会予算→消耗品費・研修費用のみ)